

# 保育本山

発行所  
横浜市神奈川区沢渡  
4の2  
神奈川県保育会  
発行人  
鈴木萬吏  
題字  
故 内山岩太郎 筆

## 地域の保育需要に応える保育所へ

神奈川県福祉部長 安達正平



今年は、国連において児童権利

宣言が採択されて三十年、国際児童年から数えて十年という児童福祉にとって記念すべき年でござります。

保育の分野におきましても、児童に対する特別保育対策の大幅な制度改正が行われるなど、大きな区切りの年とも言えるかと思います。

この三十年、社会・経済情勢の変化は著しく、児童を取り巻く環境は大きく変化し、保育ニーズも多様化してきております。

特に、女性の社会進出の増加、核家族化の一層の進行などにより、

乳児保育、延長保育等の充実が要請されているほか、保育所も措置

児童を対象としたものから、その機能を地域に開かれた施設として活用していく方向に大きく変わりつつあります。

今年度からこの地域保育センター事務の導入も図ってまいりたいと考

等を実施していくだいしているところですが、今般の国の制度改革に伴い、県といたしましても九月補正予算にその改正内容を盛り込んでおります。

乳児保育、延長保育、障害児保育など組み直しを行ったほか、従来から行っている延長保育などの県単独制度の充実を図りました。これ、児童福祉の向上に尽くされます。

これからも、時代の要請に応え、

たこれらの制度が一層活用され、乳児保育や延長保育がますます促進されることを期待しております。

また、厚生省は平成二年度予算

の概算要求の中、「地域保育セ

タ」構想を打ち出し、全国で五百か所の設置を図ろうとしていますが、この地域保育センターは、

した「地域育児センター」などが参考とされたやに聞いております。

地域育児センターの設置を進めている本県におきましても、その設

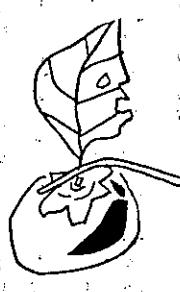
置促進と充実強化を図るため、來

年も、本県におきましても、その設

立地のため、地域において保育所の果たす役割は、従来に増して大きくなるものと思われます。

保育会の皆様が保育の新たな展開へ、さらに一層の御努力を重ねら

れる、児童福祉の向上に尽くされる





大会実行委員の人達が、流れ作業で次々に資料等を袋づめにしました。

七月十七日には、梅雨も明け、箱根のさわやかな風の中でもこそこと熱氣があふれ、成功を祈りながらの作業でした。

大会実行委員の人達が、流れ作業で次々に資料等を袋づめにしました。

第三〇回関東ブロック保育研究大会を前日に控えた七月十七日に

関係者一同箱根小涌園のグリーン

パレスにおいて資料づめをいたしました。グリーンパレスは、開会式・閉会式の行なわれた場所です。

## 前日の活躍

「育」を取上げ、9グループに分れ、

予め提示されたテーマを自由選択し、あらゆる角度、経験を元にして真剣な討議が行なわれ、そのための発表も熱のある質の高いものだった。参加者全員が発言し、

参考した実感と会の運営の方法など得るものが多くたと好評だった。今後に一石を投じた感があった。

13年ぶりの当番県としての関ブ

ロ大会は、熱意と協力の賜として盛況裡に終り、社会の変遷に伴な

い研究内容も変容し、保育者の眞剣な姿勢を彷彿させていた。

それを発想転換させ、成功し目を引いた。今迄の、研究発表、質問、

助言の形に、時間配分を工夫しげた。

ループ討議に充分の時間を取った

事だ。今、関心の『新教育要領』の要旨と云われる「環境による保

神奈川県、箱根町の両行政当局の力強い支援の下に本会会員各位による物心身三面にわたるご協力により第三〇回の関東ブロック保育研究大会が七月には盛会裡に開催することができました。心より感謝申しあげます。

本会の会務の運営も総務、研修、調査研究、広報の四専門部に委員全員が分属してそれぞれが会務の執行にご努力いただいておりその運営方法もすっかり定着してまいりました。更に民間側委員全員が予算対策部に属して年末からは多忙の予対活動にあたるわけであります。予算活動協力金の拠出をいただけ有難うございました。ただまだご協力いただけない園もあり尚一層のご理解ご協力を願いあげるものであります。又公立側委員全員は公立専門委員会に属し公立なるが故に抱えている問題に

開催することができました。心より感謝申しあげます。

十一月二十日火から二十二日まで北九州市で開催されますのでご参

加方宣敷願上ます。

青森での全国大会は六十余名の参加の盛況がありました。来年は

## 大会を振りかえつて

運営委員長 鈴木 萬史

十三年に一回めぐつてくる関東ブロック大会とあって、地元は、

育関係者をお迎えする心の準備は

何はともあれ、二〇〇〇名近い保育関係者をお迎えする心の準備は

神奈川県、箱根町の両行政当局の力強い支援の下に本会会員各位による物心身三面にわたるご協力により第三〇回の関東ブロック保育研究大会が七月には盛会裡に開催することができました。心より感謝申しあげます。

青森での全国大会は六十余名の参加の盛況がありました。来年は

北九州市で開催されますのでご参

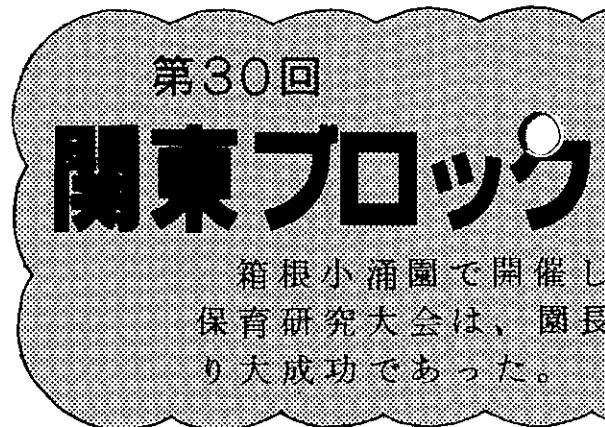
## 壁面を飾つて

地元保母会の苦労

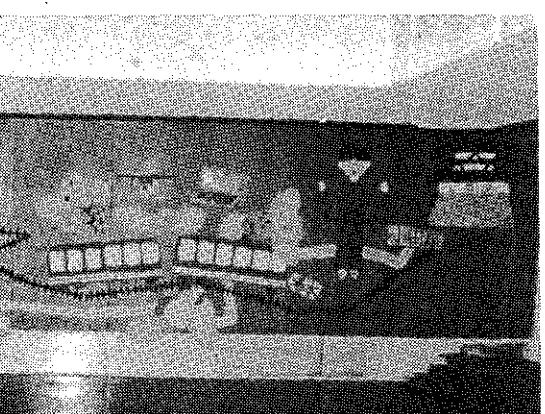
しておきました。

箱根地区の保母会で体育館の化粧をすることになり、一日目の集

りを体育館で行いました。考えや



## 保育研究大会

た第30回関東ブロック  
・保母一体の努力によ

思いつきは、大名行列・カット集から探す、童話をモチーフに等が田原から箱根まで車窓にうつる風

ブロック大会とあって、地元は、

青森での全国大会は六十余名の

参加の盛況がありました。来年は

北九州市で開催されますのでご参

加方宣敷願上ます。

十三年に一回めぐつてくる関東

ブロック大会とあって、地元は、

青森での全国大会は六十余名の

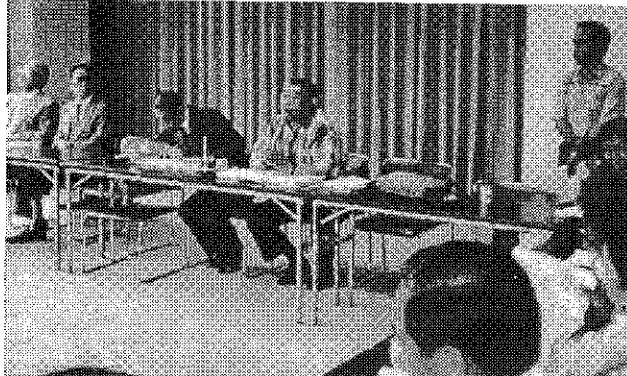
# 速報編集風景

この大会の内容を問われる二日目の研究討議、ほぼ予定通り終了し、次々と所定の場所に役員が集りまとめて作業にとりかかり、速報係としてはまず胸をなでおろす。早速出来上った原稿から順に誤字、脱字等のチェックを部厚い辞書片手に分担して行う。しかしこのあたりから思わずハピニングに見舞われる。

過ぎても原稿のままならない分科会が続出。まず予定時間を三時間十時近くになってやつと遅い夕食をすませ、編集開始。部員の持参する原稿に目を通す部長の厳しく、細かい指摘に一同緊張の面持。ようやく印刷業者に原稿を渡し待つことしばし。出来上つてくるゲラ刷りの校正にとりかかる頃は草木

もねむるうしみつ時。ここだけはこうこうと明るく熱気がこもる。

事務局の人達の応援も得て明日の校正が終了し、部長のねぎらいの言葉に部員一同ほっと安堵すると同時にどつと疲労感におそわれ、部屋にもどった時には午前二時をまわっていた。ともあれ無事重責を果し充実感を味わった速報作りだった。



大会前日 実行委員による最後の作戦会議

## 記念講演

### 「いま・子供たちは」

俳優 東野英心氏

東野英心氏を迎えての講演は俳優である氏の関わった「中学生日記」のドラマ作りに関するエピソードをまじえながら今の子供たちの過保護過干渉の中で気持の発散の場としての言葉について話をされました。氏は言葉には非常に大きな力がある。しかし相手の心に止まる言葉が大切だといわれました。

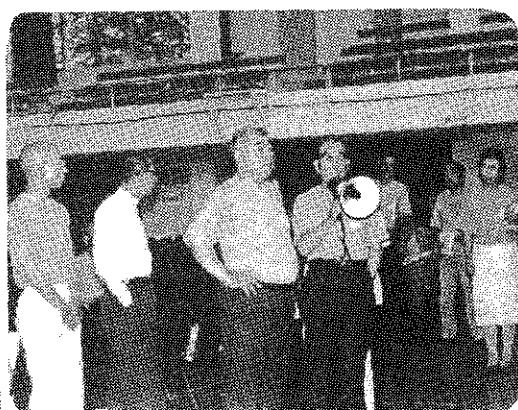


判断力や想像力が培われるのだから大人が先取りして言葉かけをしない、大人が出来ることは子供たちが安心して心の開ける言葉を考えること。まず自分の心にステキな空間をと結ばれました。





役員雄姿、誰だかわかりますか？



準備OK皆さんガンバリましょう。

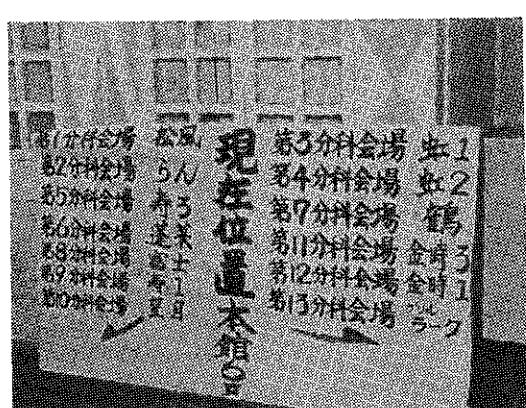


2,000名の参加者あふれる開会式

しやしんあれこれ



小田原駅ようこそ「箱根路」へ



朝食風景

## 保育所アンケート調査の結果から

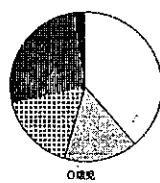
今年一月に県所管の公私立保育所三十七園を対象にアンケート調査を実施いたしました。その結果はすでに各園へ「保育所アンケート調査報告書」として送付しておりますが、このアンケート結果から施設各々に当てはめ総合的に判断いたすことにより、今後の保育所運営に役立つものと信じております。

さて、調査結果から第一に感じたことは定員割れの問題です。(表1)

この表からは、まだ民間保育所



0歳児(公 22 私 24)



1歳児(公 22 私 22)

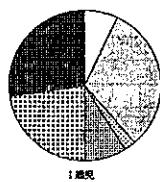


表 1

区分	人数	割合
3:1	18,000	39.1%
4:1	7,000	15.2%
5:1	9,000	19.8%
6:1	8,000	17.3%
7:1 不明	12,000	26.0%
合計	46,000	A

表 2-1

区分	人数	割合
3:1	3,000	6.8%
4:1	14,000	31.5%
5:1	1,000	2.2%
6:1	4,000	9.0%
7:1 不明	10,000	22.7%
合計	44,000	A

表 2-2

優秀な保母の養成と施設の整備も条件となります。延長保育や産休明け保育・障害児等の受け入れな

地域に根ざす保育所にするには、明け保育・障害児等の受け入れな

企業は週休二日制を取り入れる中で、保育所は労働時間の短縮す

らままならない現状に、行政はも

っと真剣な態度を示し、人員配置や人件費の増額をはかるべく強く要望する。養成校からの就職希望者も一時期より減少の一途をたど

つていていることでも、この辺に原因があるよう思われます。決して希望しない訳でないのですから、設置者に格差をなくす為の一層の理解と努力が望まれます。

第三に長時間保育や産休明け保育・障害児保育等を、今後どう進めべきかあります。(表4)

これには現在すでに実施してい

への影響力は少くなっています

など行政として設置者として積極的な理解と対応が急務となります。

第二に保母定数の問題です。(表

2)

回答園が少なかったことから、

表から判断することは危険である

が、乳児への保母の配置に厳しい

現状が伺えます。又、表3のよう

にフリー保母のいない園が32パ

セントあつたことです。

総数 192園 (公113 私79)

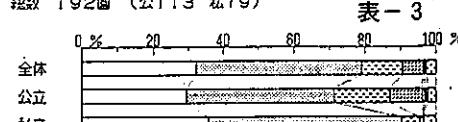


表 - 3

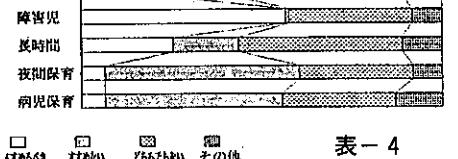


表 - 4

# 第33回全国保育研究大会 開催

「いま、子ども・家庭・地域社会とともに」

リングの故郷青森の地に、十月十一日～十三日の三日間、本県60余名をはじめ、全国から二千百名の保育関係者が集つた。

「ねぶたばやし」を皮切りに、

のち閉幕となつた。

第一日目は、開会式・厚生省の行政説明・中児審保育対策特別部会長平井信義氏の「保育指針改訂の方向と保育所の課題」と題しての基調講演があつた。表彰式では、

## 基調講演（要旨）

平井 信義 氏

が丘保育園・稻川絹子の各先生が受賞の栄に浴された。

第一日目の分科会では、関東ブロック代表として、本県の金目保育園・酒井かず子、渕野辺保育園・松岡俊彦、小田原愛児園・増田まゆみ、沼間愛児園・半沢日出夫の諸先生方の聞きごたえのある意見発表があつた。

西大友保育園・松原敏子、ひばりが丘保育園・稻川絹子の各先生が受賞の栄に浴された。

①今回の幼稚園教育要領の改訂は幼児教育の基本的転換であり、それに統じての保育所保育指針改訂の方向は保育に対する考え方の百八十度転換を意味している。これは実は転換ではなく本来の姿に戻るということ。それは乳幼児に対する真の理解を求めるものであり、「意欲」と「思いやり」を育てる

なお、県保育会が本大会に際し独自に企画した十和田湖ツアーモード二十名の参加者を得、一人一人に満足をいただけたものとなつた。

②最近の子供達には勢いがないようだが、勢いがないとは意欲が乏しいということ。意欲は自発性に通じ自発性とは自分で課題（遊び）を見つけ展開すること。自発性の発達に於て重要な項目は探索行動、

従来の心理学（平均心理学と評する）は欧米の模倣が多く、「子供らっ子」にしよう。いたずらは好寄心に基づく行動であり大人の研究と同じ。いたずらもなく反抗期もなかつた子供は、やがて挫折する。また「しつけ」も程々に人間には、あいまい性がある。あまりにも完全にきちんとやる人のことを欧洲では「黄金色に輝く籠

の鳥」という。

②我国の幼児教育の先進者、倉橋惣三は「いい保育者とは子供の活動の背後にあって目立たない保育をする人」と言い又「私は心理学者と言われたくない。詩人と言わたい」と言つていた。詩心や子供に感動する心、これが今後保育者に必要になる感性。感性の漲る保育とは何か。保育者の課題だ。

③最近の子供達には勢いがないようだが、勢いがないとは意欲が乏しいということ。意欲は自発性に通じ自発性とは自分で課題（遊び）を見つけ展開すること。自発性の発達に於て重要な項目は探索行動、従来の心理学（平均心理学と評する）は欧米の模倣が多く、「子供らっ子」にしよう。いたずらは好寄心に基づく行動であり大人の研究と同じ。いたずらもなく反抗期もなかつた子供は、やがて挫折する。また「しつけ」も程々に人間には、あいまい性がある。あまりにも完全にきちんとやる人のことを欧洲では「黄金色に輝く籠

の鳥」という。

④子供は思いやりを受けることによって、思いやりが発達する。思いやりのある親に育てられ、思いやりのある保育者に保育されるこ

とによって、思いやりのある子供になる。保育者の感性と思いやりのある人格が求められる。

⑤叱らない保育を三十五年来提唱している。子供は善なる存在（性善説）。子供が嘘をつくのは叱られるから。「待つ保育」を。子供中心の保育、即ち「自由遊び」を援助する保育への転換が望まれる。

⑥何歳になると何ができるという

従来の心理学（平均心理学と評する）は欧米の模倣が多く、「子供らっ子」にしよう。いたずらは好寄心と同じ。いたずらもなく反抗期もなかつた子供は、やがて挫折する。また「しつけ」も程々に人間には、あいまい性がある。あまりにも完全にきちんとやる人のことを欧洲では「黄金色に輝く籠

## 沼間愛児園訪問記

横須賀線で東逗子駅に降りた。辺りは小高い山に囲まれ豊かな自然の中に閑静な住宅地が広がっていた。10月21日(土)、「西暦二〇〇〇年代の保育所を考える会」の20名は東逗子駅近くにある沼間愛児園の地域育児センターを訪れた。

沼間愛児園は、園庭を囲むように幼児部と乳児部の園舎が渡り廊下でつながり、隣接した育児センターは、園長先生のご自宅で開設されていた。

はじめに、全国発表された半沢日出夫園長先生から、「地域育児センターの理念と実際」についてお話を伺った。園長先生は今後育児センターを実施する場合、特にそれぞの地域での実態を考慮することと、意識の変革をして将来へつなげることが大切であると強調された。三年目後半を迎えた沼間愛児園・育児センターの事業は、地域交流事業・育児情報提供



事業として、毎週土曜日に「ふれあいサタデー」を実施している。

▽ご冥福をお祈りいたします。  
須藤紀世様(前厚南幼稚園長)  
平成元年四月十五日逝去

本年度、広報部に新しく迎えた  
部員のひとこと  
**あとがき**

### 平成元年度の研修会・行事予定

### ●主任保母研修会 11月7・8日

横浜東急ホテル(横浜駅西口) 県保母賞受賞予定者を囲んで

ご協力

### ●保母の日前夜祭 12月1日

湯河原町のホテル観山で。

### 女性問題評論家の熊丸氏の講演等

### ●調理員研修会 平成2年1月16日

お祝いを行う。

### ●園長研修会 平成2年1月16日

場所 県政総合センター(ホール)

講演とグループでの話し合い

及び懇談会などになる予定

### ●園長研修会 平成2年1月下旬

場所 大磯・小田原などの名所廻りと施設見学を予定

### ●講演会 平成2年1月下旬頃

「山笑い山滴たり山燃え山眠むる」。「栗一粒秋三界を藏しけり」(寺田寅彦)。今は沈静な艶を内包する晩秋。人々の営みはやまず、保育活動も堅調。

藤田勝義

役員になると同時にプロ当番

保育活動も堅調。

河崎和子

県にあたり忙しさの当り年。お

かげで一挙に先輩の皆さんと親し

くなり、楽しく会議や仕事に参加

させて戴いています。

先生方の仕事の速さに驚いていま

す。教えていただく事が多いので

努力したいと存じます。

藤本信江

「保育かながわ」の広報に参加

させていただきました。

藤本信江

いろいろな新らしい経験ばかりで

新鮮な驚きでいっぱいです。どう

ぞよろしく。

小島淑栄